

2026 年 10 月 8 日

報道関係各位

リアルワールド株式会社
三菱地所株式会社
一般社団法人 TMIP

リアルワールド
RLWRLDのフィジカル AI ロボットが飲料提供、空容器を回収
大手町仲通りにて「まちまるごと実証実験 by TMIP」第 4 弾を実施
～人とロボットが共存する実環境で、フィジカル AI の社会実装に向けて検証～

世界最先端*のフィジカル AI ロボット基盤モデル（RFM）の開発に取り組むリアルワールド株式会社（以下「RLWRLD」）、三菱地所株式会社、一般社団法人 TMIP（Tokyo Marunouchi Innovation Platform、以下「TMIP」）は、2026 年 10 月 15 日・16 日の 2 日間、東京都千代田区の手町仲通りにて、フィジカル AI ロボットによる飲料提供および空容器回収の実証実験を実施します。



近年、人手不足が深刻化する中、生産性の向上や持続的なサービス提供を支える技術として、現実世界で作業を担うフィジカル AI への期待が高まっています。AI とロボット技術の進展を背景に、幅広い分野での活用と市場拡大が見込まれる一方、社会への普及には、人と接する場面での安全性、周囲の状況変化に応じた安定的な動作、利用現場に即した運用方法の確立などが課題です。そのため、実際の利用環境で検証を重ね、技術と運用の両面から知見を蓄積することが重要です。

三菱地所では、丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）全体をプラットフォームと捉え、個社単独では実現しにくい取り組みをエリア全体で提供する「[まちまるごとワークプレイス構想](#)」を推進しています。その一環として、丸の内エリアにおける複数企業の共創による実証実験を企画・推進する「[まちまるごと実証実験 by TMIP](#)」に取り組んでいます。

本実証では、三菱地所が運営するスタートアップ拠点「EGG」に入居する RLWRLD、三菱地所、TMIP の 3 者が、大手町仲通りを実証フィールドとして活用し、人とロボットが共存する環境におけるフィジカル AI の運用可能性や社会受容性を検証します。本実証を通じて、AI が実世界で人やモノと関わりながら認識・判断・行動するフィジカル AI の社会実装に向け、ロボットによるサービス提供のあり方を検証することで、多様な就業者や来街者が行き交う丸の内エリアにおいて、人とロボットが接する場面での運用を検証するとともに、フィジカル AI への理解促進を図ります。3 者は本実証で得られた知見を、業種や事業の垣根を越えて展開し、将来的には労働力不足が懸念されるさまざまな分野への社会実装につなげてまいります。

TMIP は、こうした先端技術の社会実装を加速するプラットフォームとして、今後もリアルな都市空間を新たな技術の実証フィールドとして開放し、フィジカル AI をはじめとする技術の実証・検証を支援することで、多様な主体による共創と持続的なイノベーション創出を目指してまいります。

*RLWRLD が開発するロボティクス基盤モデル「RLDX-1」は、グローバル公開ベンチマーク 8 種において、NVIDIA 社の GR00T や Physical Intelligence 社の π O（パイゼロ）など、既存の最高性能（State-of-the-Art、SOTA）モデルを上回る結果

■実証実験の内容

実験名称：フィジカル AI ロボットによる飲料の手渡し・空容器の回収の実証実験

実施場所：大手町仲通り

実証期間：2026 年 10 月 15 日（木）・16 日（金）

※本実証は、「運動・リフレッシュ・交流・発見」の体験を通じて一人ひとりのウェルネスを支え、まち全体の活力につなげていくエリア一帯イベント「まちまるごと WELLNESS WEEKS 2026 Autumn」（会期：2026 年 10 月 14 日（水）～21 日（水））期間中の上記 2 日間のみ、イベント内で実施する取り組みです。

実証内容：

① 飲料の手渡し体験

ロボットが飲料をつかみ、エリア就業者や来街者に手渡します。人との受け渡し動作を通じて、産業現場における物品の供給や作業支援など、フィジカル AI の活用の可能性を紹介します。

② 空容器の回収

エリア就業者や来街者がテーブル上の指定位置に置いた空容器を、ロボットがつかんで回収します。対象物をつかんで移動させる動作を通じて、産業現場における物品回収やハンドリング作業への応用をイメージいただけます。

※体験内容は事前検証の結果などにより変更する場合があります。また、天候や機材の状況により、実施内容の変更や中止となる場合があります。



■各社の役割

【RLWRLD】

独自開発のフィジカル AI 基盤モデル（RLDX-1）で動くロボットおよび体験コンテンツの提供、事前の動作検証、当日の運用・監視、安全管理

【三菱地所】

実証場所の調整、開催イベントを通じたエリア就業者や来街者との接点および実証機会の提供

【TMIP】

実証全体設計、プロジェクト推進、実証の告知・情報発信および広報活動

■今後の展開

本実証で得られた知見をもとに、フィジカル AI ロボットの運用や活用場面について検討を深めていきます。TMIP は今後も、丸の内エリアの多様な空間と企業が持つ技術・アイデアを結びつけ、実際のまちを舞台に先端技術を試す機会を創出していきます。まちで先端技術に触れる機会と、その活用の可能性を検証する取り組みを重ねることで、まちの体験価値向上や課題解決、新たな事業・サービスの創出を目指します。

■ 参考) 各社の概要と取り組み

【リアルワールド株式会社 (RLWRLD)】

代表者 代表取締役 李勲
所在地 東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸の内ビルディング 10F EGG Office
資本金 30 百万円
設立年月日 2026 年 4 月
主な事業内容 ロボティクス基盤モデル (RFM: Robotics Foundation Model) の自社開発・提供
サービスサイト [RLWRLD - ロボティクスの Real World Intelligence](https://www.rlwrl.com/)

【三菱地所株式会社】

三菱地所は 1937 年設立の総合不動産会社です。「まちづくりを通じた社会への貢献」を基本使命に掲げており、東京・丸の内に代表されるオフィスや商業施設の開発・賃貸・運営管理をはじめ、住宅の開発・分譲、更には設計監理や不動産仲介、海外事業、エリアマネジメントなど多岐にわたる事業を展開。多様な人・企業が集い、交流することを通じて進化していくまちを目指し、丸の内エリアの「オープンイノベーションフィールド」化を進めており、先端技術・テクノロジーのまちづくりへの実装の一環として本取り組みを行っています。 <https://www.mec.co.jp/>

<丸の内“まちまるごとワークプレイス”構想>

丸の内エリアの特性の一つは、
135 年以上にわたるまちづくりを通じて
お客様や様々なステークホルダーと共に築き上げてきた
「利便性と集積」です。
その特性を踏まえ、テナント企業が自社オフィスだけで
実現できないことや、個社単独の取り組みでは
実現しにくいことを「まちまるごと」でサポート、
エリア全体がプラットフォームとして機能することで、
働き方の質や効率を高めます。



▲まちまるごとワークプレイスのイメージ

始動リリース: https://www.mec.co.jp/news/detail/2025/05/22_mec2500522_machi

【一般社団法人 TMIP】

一般社団法人 TMIP は、丸の内エリア(大手町・丸の内・有楽町)のイノベーション・エコシステム形成に向けて、Tokyo Marunouchi Innovation Platform (TMIP) を運営しています。TMIP は、大企業とスタートアップ・官・学が連携して社会課題を解決することで、イノベーションの創出を支援するオープンイノベーションプラットフォームです。会員、パートナーを含めると 400 社を超える組織になります。 <https://www.tmip.jp/ja/>

<まちまるごと実証実験 by TMIP とは>

TMIP コーディネートのもと、丸の内エリアが有するアセットを活用し、複数企業の共創による実証実験によって共創プロジェクトを加速させる取り組みです。

<https://www.tmip.jp/ja/report/12089>